

「学校配置の見直しについて」説明会 質疑応答要旨（舍利寺小学校）

実施日時：平成 26 年 7 月 1 日（火）19：00～20：35

参加者数：55 人

出席者：（生野区役所）清野区長、竹沢副区長、北邑教育振興担当課長
（教育委員会事務局）川口学校適正配置担当課長
（学校）船留舍利寺小学校長、北野生野中学校長

統廃合の必要性やめざす方向性に関する質問・意見

- 1 50 年ほど前から（御幸森小学校と舍利寺小学校のどちらでも就学できる）調整区域になっている地域があるが、その地域は舍利寺小学校のブロックとして扱われるのか。

（区長）

校区の考え方については再編が終わるまで変わりません。平成 27 年度から小学校で通学区域の短さによる指定校変更の制度を実施しますが、区全体のよりよい教育環境を整えるために、ブロック単位で皆さん一緒に学校のあり方を考えていきたいというのが今回の取組の趣旨です。

- 2 適正配置の分類を見ていると舍利寺小学校はまだ統合の対象ではないと思う。住民としても今の 11 クラスから子ども達が増えるような取組をしたい。

（川口課長）

教育委員会の指針では小さい学校から順に見直すことになっていますが、生野区では全体で考えていくという方針です。

（区長）

まちづくりによって子どもの数が急に増えるということは考えにくい状況です。生野南部事業で市営住宅を建てても以前からの住民しか住めないという制度には疑問も感じています。長屋を改装して若い人を呼び込む取組も進めています。

- 3 行政区域を超えた統廃合も考えているのか。

（川口課長）

統廃合は各行政区単位で取り組むこととされており、行政区を超えての統廃合は考えていません。

- 4 舍利寺小学校をなくして公共施設を移設する予定なのか。

（区長）

今どこの学校を統廃合するかは決めていません。統廃合で廃校になった学校の跡地に公共施設を移すという考え方もできるということです。

- 5 小規模校での子どもの教育について、どういう状況になっているか教えてほしい。

（区長）

具体的には、組み体操や器楽合奏が成り立たないといった教育活動の幅に制限が生じるということ、教員の数が少ないので教員1人当たりの校務の負担が重くなり、指導研究や子ども達と触れあうために割ける時間が限られてしまうということがあります。

6 大池中学校に進学する舍利寺小学校区の住民の扱いはどうなるのか。

(区長)

今のブロック分けは通学の安全などを考慮し今里筋と勝山通で分けたものです。舍利寺小学校と同様に大池中学校に進学する御幸森小学校も小学校のあり方については西側エリアの学校と一緒に考えてほしいということになっていますが、東側エリアで考えたいという意見でまとまれば対応したいと思います。

進学先中学校の課題については、東側エリアでは平成27年度から中学校の学校選択制を導入しますが、学校配置に目途がついた段階で西側エリアでも早急に導入していきたいと思っています。

7 特別区設置の際に他区の学校と統廃合されることになるのか。

(区長)

現在、各行政区でそれぞれ同じように学校配置の見直しを検討していますが、将来的に大阪市がどのような形の自治体になったとしても、その自治体で特段の合意がされない限りは、現在行政区単位で取り組んでいる施策は尊重されるものと考えています。

統廃合の進め方に関する質問・意見

8 学校の統合時期はいつ頃を想定しているのか。

(副区長)

統合計画案をとりまとめてから、3年くらいかけて統合後の学校についての具体的な内容を決めたり施設の改修を実施したりします。新しく一緒になる学校の子ども同士が行事等を一緒に行う等、お互いの文化に慣れ親しむための交流や、新しい学校の教育目標や通学路の安全についての検討等移行の準備のための時間を十分取っていききたいと思います。

9 これまでの約50年間、子どもの数に応じて対症的にやってきた学校配置を、人口推計等も活用してしっかり進めてほしい。学校統合協議会では緻密に議論を進めていかないと問題が発生すると思う。

統廃合後のあり方に関する質問・意見

10 学校は生涯学習ルーム等地域活動の拠点でもあるが、それについての話も学校統合協議会の議題になるのか。

(区長)

生涯学習ルーム等は学校にとっても大きな活動なので、統合する際にご議論いただく課題だと考

えています。統合後は複数の地域が1箇所の施設を使うことになり、場合によっては今までそれぞれの地域でやってきたことができなくなることも考えられるので、色々とやり方を考えていかなければならないと考えています。

統合するとPTAは1つにさせていただかなければならないということも課題です。

- 11 学校は防災拠点でもあるが、廃校になった後の施設の管理はどうなるのか。

(区長)

生野区内では公共の土地が限られているので、跡地についてはすぐに売却するのではなくて有効な活用方法をじっくりと考えていく必要があると思います。統廃合の際に区内の公有地に学校を建設して今までの土地には別の公共施設を建設するという事も考えられます。

- 12 通学距離が長くなって交通機関を利用しなければならない場合、通学のための交通費は市から出るのか。

(川口課長)

通学を指定された小学校まで自宅から一定以上の距離がある場合、小学校3年生までは子どもとその保護者の、4年生からは子どもの交通費が市から支給される制度があります。ただし、学校選択制を利用して別の校区の学校に行っている場合にはこの制度は適用されません。

- 13 現在小学校が避難場所になっているが、備蓄物資も人数分はない状況である。子どもの数は少なくとも人口が少ないわけではないので、統廃合になれば避難場所等はどうなるのか。

(区長)

大阪府の防災計画が見直され、現在大阪市の防災計画を見直しています。備蓄物資はこれまでは1~2日分でしたが、長期間になると自助・共助で対応していただきたいということになっています。

小学校だけでなく中学校、高校等も避難場所になっています。区の防災を区全体で考えていくという方向性で取組んでいますが、備蓄場所なども考えなければなりません。

その他の質問・意見

- 14 複式学級とは何か教えてほしい。

(川口課長)

2つの学年で1つの学級を編成することです。国の基準により、1年生以外で連続した学年の合計人数が16人以下になると複式学級にすることになっています。

- 15 少子化に対してどうしたら子どもが増える街になるのか考えないと、統廃合してもまた統廃合しなければならなくなるのではないか。

バスの本数が減って地下鉄も通らない状況では人は増えない。

(区長)

まちづくりについては地域まちづくり協議会の皆さんと話し合いながら、区全体のことについて

は区政会議で話し合いながら進めていきたいと思ひます。